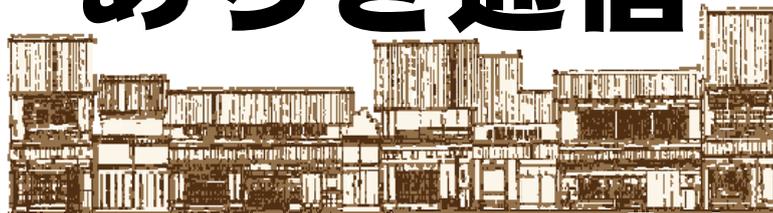


# あらかき通信



(株)アラキ工務店 編集・発行 村上 幸男

〒615-0906 京都市右京区梅津高畝町 52-2

Tel 075-882-8668 Fax 075-872-0223

<http://www.kyoto.zaq.jp/araki/>  
info@kyoto-kozai.com

## 大変ごぶさたしています

### 建築不況にもめげず、みんなで頑張っています！

もうすぐ梅雨入り。

今年は、寒暖の差が激しい毎日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

「あらかき通信」2年ぶりの発行です（ゴメンナサイ）。



その間に、いろいろな事がありました。

- ・新人君が2名仲間入りしました。
- ・桜井君の修行ドキュメンタリーが制作されました。（そして、見事年明けしました）
- ・探偵ナイトスクープに出演しました。
- ・斉藤くんが結婚しました。（そして、お子様も誕生しました）
- ・NPOの講演会も10回開催しました。 等等…

私も、東京から戻ってきて、もう10年。この仕事をしていると、あっという間に月日が経ちます。

その間にいろいろなお施主様と色々な話をさせていただき、人生の節目節目に立ち合わせていただくことができました。従業員一同、これからも切磋琢磨し、喜んでいただけるような良い仕事をしていきたいと思っています。

上の写真は、京町家棟梁塾の入塾式の様子です。2年にわたって京町家のさまざまな技術・作法を勉強します。弊社からは秋田・中村・米沢・山脇の4名が参加しています。他にも、わたる会(協力業者会)メンバーの城戸さんと松本くんも参加しています。弊社会長が塾長なのですが、今回で終了予定なので、気合が入っています。少しでも吸収し、仕事に活かしてほしいと願っています。

建築業界を取り巻く環境は相変わらず厳しいですが、その分我々も努力していかなければならないなと感じています。網戸の張替えから、大規模修繕まで、なんでもやっていますので、お気軽にお電話ください。監督一同、お待ちしております。

## 公共工事もやっています



左の写真は、京都市のお仕事で、「嵐山東小学校 北校舎便所改修工事」です。

昨年の夏休み期間をはさみんで3ヶ月ほどの工事でした。昔に比べて、書類の量が増え、提出書類だけでも高さ20cmほどに。これも時代の流れかもしれません。

右の写真は、宮内庁さんのお仕事で「光照院宮墓地土塀改修工事」です。お墓のすぐ後ろの土塀です。

しかし、塗りにくい。墓石と塀のスキマが10cmほどしか空いていない。チョット墓石をどけてという訳にもいかず、汚す訳にもいかず、足の置き場にも困る状態でした。



## こちらは大規模修繕工事です

江戸終期に建てられた、中京にある少し大きな町家です。もともと、外部にアルミサッシ・壁は砂壁・軒裏はモルタルで覆われていて見えない状態でした。エアコン室外機やメーター類も木格子で覆い、見違えるようになりました。出格子の切子が大きく中が見やすくなっていますが、これは元のままです。祇園祭の時に中に装飾品を飾り、見てもらえるようにするためだそうです。

京都では、町家ブームが続いています。京町家が「危機に瀕する文化遺産」に選定されて事もあり、その価値が見直されてきています。戦前の建物でも改修すればまだまだ使えます。とても嬉しいことだと思っていますが、一過性のブームに終わらないことを願ってやみません。

嵯峨野にある少し大きな民家です。WIN設計事務所さんのお仕事です。こちらも、ご家族が増えるごとに何度も改修されてきましたが、近隣の街並みに合わせて、一新する事になりました。

虫籠窓や、板塀が綺麗ですが、これらも、一から作り直しています。あまりに素敵なので、近くを通る観光客の方が、思わず三脚を広げて写真を撮影する姿をよく見かけます。こうした和風のお住まいは工期がかかりますが、出来上がってみると今の建物にないよさがあります。



## もちろん、水廻りの一部修理も！(^\_^)

昭和中期の建物の水廻りの改修をすることも増えてきました。その頃は、自宅にお風呂ができた、置き流しが据え付けられたりした時期です。長年の使用に耐えて活躍してきましたが、老朽化のため入れ替えです。解体してみると、水が回って土台が腐ったり、断熱施工が充分でなかったりする場合も多々あります。

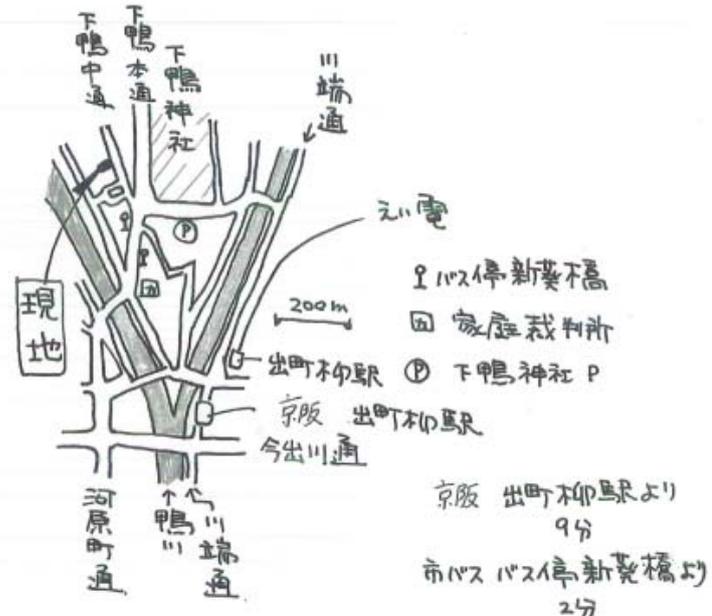
昔の製品は、今とは技術が異なるため、どうしても見劣りがしますが、当時としては画期的な事だったのかなと思います。本当にご苦労様っていいですね。



## 京町家 改修完成見学会を開催します



日時：6月6日（日） 10:00～15:00（何時でも大丈夫！）



※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

大正14年（西暦1925年）に建てられた京町家の改修。築後85年が経過した町家。

建物には経年による疲れが見え始め、その間に日本人の生活様式は一変。本物件では、疲れの見える構造体の矯正、外観の補修、内部空間の修復などはもちろん、現代の生活様式にも対応できる改修を心がけました。

建築当初の趣を改修の中心に据えながら、復元修理に偏ることなく再生。

住み継がれる京町家の改修事例のひとつとして、参考になるかと思います。

お時間が許せばお越しください。

◆当日のお問合せは 荒木 智 携帯 090-8983-9161

来てね！



## **2009年度、2010年度の新入生を紹介します**

すいません、長い間あらし通信を作れていなかったのですが、新入生の紹介が二人になりました。

**小林 俊二 君**です (2009年度)

**宮崎 辰昭 君**です(2010年度)



自分の成長を待ち望んでいる人たちの気持ちを裏切らないよう、どんな事も妥協せず気合を入れて頑張ります。今年、二級建築大工技能士合格しました！



桜井先輩の紹介番組を見て、アラキ工務店の面接を受けました。

佐賀から単身で京都に来たので不安もありますが、全力で頑張りたいです。

## **桜井君が年明けしました！**



2005年の4月に入社してあっという間に5年が経ちました。2010年の3月に年明けのお祝いを西院のちゃんこ屋さんで頂きました。

それから2級建築大工技能士も今年3月にとりました。まだまだわからないことだらけですが、慌てずに少しずつ身につけていこうと思っています。年明けできて本当に嬉しいです。

期待されている分、一生懸命頑張ります！

## **弊社社長も、現役で活躍中です**



武庫川女子大での授業風景です。「空間表現基礎演習」と「建築材料実験」を担当しています。

右手奥が会長。小野君と桜井君が手伝っています。今年で4年目。生の職人さんの声が聞けるとあって、みんな真剣に聞いています。

大学まで少し遠いですが、頑張っていて通っています。弊社社長も今年で喜寿ですが、あいかわらず元気です。

特選 がまくん と 町子ちゃん♪



町子ちゃん by 杉栢 さん

雨漏りの巻

上から見たビル

雨風

さらに強く

こっちからぞく

上から見たビル

細いすきまに  
さらに加速

上から見た町子ちゃん

横ばくりに強く

あ  
雨がもれた

## 住宅エコポイント始まる

2010年3月8日(月)より申請受付スタートしました。(リフォームでも申請できます)

窓のガラスを単ガラスからペアガラスにする、内窓取付、外窓交換、断熱材を入れる、さらに手すり取付などで最大30万ポイントがもらえます。弊社のお客様でも、もうすでに8件申請しました。現場の状態にもよりますが、小さいガラス(0.1~0.8㎡)を10枚取り替えると10~15万円程かかりますが、2万ポイント返ってきます。さらに手すりをつけると5,000ポイントです。

エコ工事を行うと、暖房費が安くなったり結露が減ったりというメリットもあります。今がチャンスです。気軽にご相談下さいね。



## 編集後記

町家の良さを生かしながら京都の伝統文化を発信していた京都市伝統産業振興館「四条京町家」が今年3月に閉館しました。個人所有の町家を市が借りて開設したが、財政難などで事業打ち切りとなってしまいました。

あまりに立地が良かったため、解体が危ぶまれていたのですが、オーナーさんのご好意でそのまま残ることになりほっと一息です。

町家ブームとはいえ、古い建物を取り巻く環境は相変わらず厳しいものがあります。銀行の融資がつかない、旅館業の申請がとれない、売買時に不動産価値をつけられないなどなど、いろんな声を耳にします。京町家に支援を行う京町家ファンドも資金不足から募集が中止されました。

しかし、古い町並みがこれだけ残るのは京都ならではの、微力ではありますが、できる範囲で精一杯お役にたちたいと思っています。

村上 幸男